

第2章

本年度の取り組み

第1節 中学1年生

生き方を探るⅠ ～総合人間科の基礎を身につけよう～

加藤直志・仲田恵子
前 湧 誠・浅井希和
佐藤喜世恵

【抄録】 中学1年生の総合人間科は、例年「生き方を探るⅠ」という大テーマで行っている。これに「総合人間科の基礎を身につけよう」というサブテーマを掲げて、1年間の授業を実施した。図書館を使った調べ学習、電話のかけ方、手紙の書き方、インタビューの方法、レポートの書き方、さらにはプレゼンテーションの方法など、総合人間科に必要な多くの基本的スキルを身につけさせることを目指した。

【キーワード】 生き方 フィールドワーク キャリア教育 総合的な学習の時間

1. 目標

中学1年生のテーマは「生き方を探るⅠ」である。現時点で、自分の興味のある生き方、職業について個人で探究することで、6年間の学習の動機付けを目指した。

また、サブテーマとして「総合人間科の基礎を身につけよう」を掲げた。これは、大テーマに関わらず、6年間の総合人間科の学びに共通して必要な、学ぶスキルについて基礎から身につけてもらおうという意図である。例をあげると、インタビューのしかた、フィールドワークに行く前のアポの取り方、手紙の書き方、さらには、レポート執筆や口頭発表の方法などである。これらのスキルを1年目にしっかりと身につけておけば、6年間全体を通じて、総合人間科の学習がより充実したものとなるはずである。

2. 学習方法

- (1)研究そのものは個人研究の形をとったが、随時、協同学習的要素も取り入れた。
- (2)各自の希望進路に応じた、フィールドワーク先を選定し、各自で申し込みを行い、訪問した。
- (3)事前事後学習、及び、フィールドワークで学習してきたことをもとに、レポートにまとめた。
- (4)レポートをもとにした、研究発表会を開催した。

年間の授業記録

回	日 時	授業内容
1	4月14日	総合人間科オリエンテーション
2	4月16日	保護者へのインタビュー実施

3. 授業内容

中学1年生の場合は、「生き方を探るⅠ」というテーマであるため、個人研究という形を取った。

中学1年生は、何をすることも初めてのことが多いため、ひとつひとつ丁寧に説明することを心掛けた。探究学習の基礎的な方法を身につけておけば、来年度以降テーマが変わっても、比較的容易に対応することができるという考えに基づくものである。

フィールドワーク先は、生徒各自の、関心の深い分野を研究している大学の先生であったり、自分が将来就きたいと思っている職業の方であったりと様々であった。さらに、ただ訪問して満足するのではなく、レポート作成や研究発表などで、学んできたことを他の生徒に発表することにより、生徒がお互いから学び合い、視野を広げていけるよう促した。

また、レポート作成や研究発表などにおいては、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域と関連づけて、本校国語科執筆『はじめよう、ロジカル・ライティング』（ひつじ書房、2014年）も適宜参照しながら指導した。

以下に、年間の授業記録、及び、生徒達の個人テーマとフィールドワークの訪問先を掲載する。

3	4月17日	保護者へのインタビューのまとめ
4	4月22日	「伝記」を読もう 新聞記事の切り抜きを作る
5	5月8日	伝記&新聞記事の切り抜き 発表会
6	5月22日	教育実習生へのインタビュー
7	6月5日	関心のある職業・生き方についての調べ学習
8	7月3日	個人テーマの設定と夏の課題
9	9月4日	夏休みの宿題の報告会&アポ取りの準備
10	9月25日	アポ取り&依頼状作成の準備
11	10月9日	アポ取り本番&依頼状作成①
12	10月17日	アポ取り本番&依頼状作成②
13	10月24日	依頼状完成&事前学習
14	11月6日	フィールド・ワーク直前指導&お礼状準備
15	11月13日	フィールド・ワーク本番
16	11月17日	フィールド・ワーク振り返り&お礼状作成
17	11月20日	研究集録レポートについての講義
18	11月27日	研究集録レポート執筆
19	12月11日	研究集録レポート完成
20	1月8日	プレゼンテーションの準備についての講義
21	1月15日	プレゼンテーションの準備①
22	1月22日	プレゼンテーションの準備②
23	1月29日	グループ内発表①
24	2月5日	グループ内発表②
25	2月12日	代表者による学年全体での発表
26	3月5日	高校3年生の話&事後アンケート

個人テーマと訪問先

研究テーマ	フィールドワーク訪問先
動物保護とは何か？	東山公園協会
生物と人との関係	東山動植物公園
遊園地の運営はどのようにして行うのか？	名古屋港シートレインランド
教育に携わる人の生き方って？	東海学園大学
動物愛護センターはどんな施設か？	名古屋市動物愛護センター
研究職のやりがいとは？	名古屋大学
法律を正しくあつかうには	名古屋地方検察庁
薬剤師という仕事とは？	名古屋市立大学病院
世界の環境問題に活かせる科学とは何か？	名古屋市工業研究所
イラスト関係の仕事	名古屋コミュニケーションアート専門学校
教育委員会の仕事について	愛知県教育委員会
薬で人の健康を支えるには？	大島薬局
医療に携わる生き方とは？	藤田外科
「法律の大切さ」とは何か？	すずたか総合法律事務所
鉄道運転士の仕事内容は何か？	名古屋市役所
人のためになる仕事	国際刑事警察機構・名大
動物の命を助ける仕事とは？	平成動物病院
検察官とはどれほど重要な仕事なのか	名古屋地方検察庁
薬を作る大変さとは？	ファイザー・ファーマ株式会社
世界の中で弱い立場にいる人を助ける	国際連合地域開発センター
“ゲーム”電子画面に想いを乗せて	NCS名古屋情報メディア専門学校

数学に関わる仕事	名古屋大学
アナウンサーの仕事に必要なこととは？	東海ラジオ放送
数学とは社会でどのような存在か？	名古屋大学
音楽に関する仕事について	名古屋フィルハーモニー交響楽団
テレビを通じて情報を伝える仕事にはどのようなものがあるのか？	中京テレビ
心と体のつながりとは？	中京大学
いじめの正体とは？	名古屋大学
リトミックとは？	カワイ音楽教室
児童を伸ばす声かけとは？	愛知教育大学
家に関わる仕事とは？	大和ハウス
趣味は仕事にできるのか？	日本中部棋院総本部事務所
先進国、日本の技術力の問題点は何か？	名古屋大学
ラジオの仕事と魅力	エフエム愛知
研究者として大切な事とは…	名古屋市立大学
知ってる？ 声優の仕事 みんなにとどけ俺の声	日本マンガ芸術学院
テディベアを通じてできる「社会貢献」とは何か？	テディベア作家
植物に携わる仕事とは？	名古屋大学
よい人間関係を築くには？	朝日新聞
薬剤師の仕事とは？	猪高調剤薬局
映画を届ける仕事とは？	東宝
世界と日本をつなぐ人とは？	インタースクール名古屋校
獣医師として一番大切なことはなんだろうか？	ブランコ動物病院
教育委員会って？	愛知県教育委員会
身近な薬剤師の実態とは？	スギ薬局
幼稚園教諭って何するの？	あけの星幼稚園
特殊な公務員の仕事の内容とは？	名古屋刑務所
小学校教諭の仕事とは？	名古屋市立内山小学校
肉は必要か？	名古屋ミートセンター
翻訳とは？	翻訳センター
通訳は話すだけじゃない？	浜田明子通訳事務所
海外で働く仕事 ～青年海外協力隊～	JICA中部
天文学の探求とは？	名古屋大学
鉄道運行の現状とは？	近畿日本鉄道
コンシェルジュとは？	名古屋マリオットアソシアホテル
人の命を救うとは？	豊田市北消防署
ピアノ調律師ってどんな仕事？	名古屋ピアノ調律センター
医師の仕事とは？	吉田医院（眼科）
地図はどのように作られるのか？	国土地理院中部地方測量部
（水族館の）飼育員の秘密とは？	名古屋港水族館
サッカーコーチの仕事とは？	名古屋グランパスエイト
自動車交通の研究とは？	名古屋大学
教育に関する仕事は、ものを教える仕事といえるのか？	ニッケインドアテニススクール
広告といえば…？	電通
水族館にはどのような仕事があるのか。	名古屋港水族館
臨床心理士になるにはなにが必要か？	名古屋大学
天文学者の仕事とは？	名古屋大学
医者という職業とは？	名古屋第二赤十字病院
デザインって？？	2mm design

警察官の仕事（ひとだすけ）	愛知県警察千種警察署
困っている人を助ける仕事とは？	アディーレ法律事務所
患者の未来を決める病理とは？	名古屋大学
別の視点から見たスポーツとは？	名古屋大学
少年犯罪と法務教官とは？	豊ケ岡学園
人を救う仕事につくために、今からどんなことをすれば良いのか？	あんどうこどもクリニック
女子ラグビーをするにあたって大切なコトとは？	名古屋市立豊正中学校
多くの人が喜ぶ建築とは？	清水建設
ブラックホール、ワープとは？	名古屋大学
生きものと向き合うためには？	名古屋港水族館
図書館の役割とは何か？	鶴舞中央図書館

4. 成果と課題

6年間を通じて役に立つ、総合人間科の基礎的スキルを身につけさせるという目標は、ある程度達成されたと考えている。

最終回に行ったアンケートに「今年度、みなさんは様々な研究の方法を学びました。（中略）これらの活動を振り返って、将来に役立つものはありましたか。1年間の総合人間科の授業を受けた感想を書いてください。」という質問があった。これに対する解答のいくつかを紹介する。

- ・「プレゼンテーション本番では、ほかの学校ではあまりやらないことができたのでよかった。これは会社に入社したときにも役立つだろうと思った。」
- ・「インタビューする時の礼儀・態度を身につけることができた。自分自身でフィールドワークまでの準備を行う方法がわかった。」
- ・「私は全てだと思う。アポ取りだって、成人したとき電話するし、依頼状・お礼状は目上の人に書くときに役立つし、プレゼンテーションは例えば会社・企業などで発表したりするときに役立ったり、いろいろな場面で役立つ。」
- ・「全て役立つと思う。特に電話で依頼するための準備から、お礼状書きまでは目上の人に対しての礼儀を身につけることができるし、プレゼンテーションの準備・本番では相手に分かりやすく伝えたり、人前で話したりすることができるようになると思う。」

この質問項目に対しては、授業内容に対しておおむね肯定的な意見が多かった。一方で、「あなたの取り組みを自己評価して、その評価理由を書いてください。」という質問に対しては、次のような反省の弁が多く書かれていた。

- ・「事前学習が不十分なことが行ってみてわかった。」
- ・「プレゼン大会はかなり努力したが、事前学習をあまりしなかったから。」
- ・「事前学習やプレゼンテーションの準備で、まだたくさん頑張れたところがあると思うから。」

初めての経験で、どの程度の事前学習をするとよいのかがつかめないうまま、フィールドワークに行ってしまった生徒が多かったと思われる。生徒達は自身の反省として述べてはいるが、この点をしっかりと指導し切れなかったのは、我々教員側の反省点として受け止めるべきであろう。次年度以降、事前学習のあり方について、どのように指導すべきかを考えていく必要がある。

最後になるが、研究集録のレポートを書かせる際、次の2点を例年以上に注意して指導した。

- ・文献やインターネット上の記事を引用する際には、引用のルールを守らせる。（盗作や剽窃はしてはいけないことであることを認識させる）
- ・タイトルを疑問文の形にし、レポートの最後がその答えになるような書き方を心掛けさせる。（単なる情報の羅列ではなく、探究活動に近づけさせる）

この2点について、完全に徹底するところまでは至らなかったものの、一定程度達成できた。次年度以降の総合人間科にもいきることを期待している。

（文責 加藤直志）

下の写真は、第25回の授業で行った、プレゼンテーションの様子である。

